



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 FRACTALE株式会社  
コード番号 3750 URL <https://www.frac-tale.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 聡寧

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 関本 秀貴

TEL 03-5501-4100

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	892	43.2	623		619		161	
2020年3月期第3四半期	623	66.4	7	97.4	29		30	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 105百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 30百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	20.19	
2020年3月期第3四半期	4.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	15,739	4,151	25.0	453.46
2020年3月期	15,482	3,832	24.6	568.06

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,928百万円 2020年3月期 3,812百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当金予想につきましては、未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,663,419 株	2020年3月期	7,183,195 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	350 株	2020年3月期	471,216 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,017,458 株	2020年3月期3Q	6,712,397 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた経済活動は徐々に再開されつつありましたが、第3波による影響が懸念されたことや収束時期の見通しが立たないことから、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性の向上に注力し、積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結売上高は892百万円（前年同四半期623百万円）、営業損失は623百万円（前年同四半期 営業利益7百万円）、経常損失は619百万円（前年同四半期 経常損失29百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は161百万円（前年同四半期 親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは、「不動産&フィナンシャル事業」の単一セグメントであった従来のセグメント区分を第1四半期連結会計期間より「リアルアセット事業」「メディカル事業」の2区分に変更しております。

また、前年同四半期のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

#### （リアルアセット事業）

当第3四半期連結累計期間におけるリアルアセット事業は、保有物件の売却及び商業ビルの安定的な賃料収入が売上に貢献しました。しかしながら、当社グループ保有のホテルにおいては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い各種宴会のキャンセルに加え、自治体からの要請により旅行自粛による宿泊者の大幅な減少、レストラン等の臨時休業による売上減少に見舞われましたが、GoToキャンペーンにより、売上高は例年の6割程度まで持ち直して参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のリアルアセット事業の売上高は664百万円（前年同四半期585百万円）となりました。営業損益につきましては、運営するホテルの雇用の維持を図りつつ経費圧縮に努めてまいりましたが、人件費及びホテル不動産の減価償却費負担により、営業損失174百万円（前年同四半期 営業利益158百万円）を計上することとなりました。

#### （メディカル事業）

当第3四半期連結累計期間におけるメディカル事業は、医療機器として認可を受けたセルーション遠心分離器と高度管理医療機器クラスⅢとして認可を受けたセルセラピーキットを国内の医療機関や大学病院他へ積極的に販売してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のメディカル事業の売上高は227百万円（前年同四半期37百万円）となりました。営業損益につきましては、難治性疾患の国内治験の支援及び当該疾患の医療機器の国内承認申請費用に加え、新株予約権に係る株式報酬費用211百万円を計上したことにより、営業損失329百万円（前年同四半期 営業損失55百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。固定資産は9,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産の計上によるものです。

この結果、総資産は15,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円増加いたしました。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は918百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円増加いたしました。これは主に、未払金の増加によるものです。固定負債は10,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の返済が、借入額を上回ったことによるものであります。

この結果、負債合計は11,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少いたしました。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ318百万円増加いたしました。これは主に、資本剰余金の増加及び新株予約権の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算出することが困難であることから未定としております。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	999,505	1,117,246
販売用不動産	5,246,308	5,128,264
商品	122,771	136,489
その他	111,045	179,930
流動資産合計	6,479,631	6,561,931
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,777,119	3,631,971
土地	3,871,546	3,871,546
その他(純額)	13,278	15,851
有形固定資産合計	7,661,944	7,519,368
無形固定資産		
のれん	784,941	750,492
その他	74,398	64,873
無形固定資産合計	859,340	815,366
投資その他の資産	481,859	843,242
固定資産合計	9,003,144	9,177,976
資産合計	15,482,775	15,739,908
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	27,100	-
1年内返済予定の長期借入金	520,800	520,800
その他	264,700	397,881
流動負債合計	812,600	918,681
固定負債		
長期借入金	8,218,800	8,143,200
匿名組合出資預り金	986,412	965,628
繰延税金負債	1,314,565	1,304,428
その他	317,647	256,234
固定負債合計	10,837,426	10,669,491
負債合計	11,650,026	11,588,172
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,407,796	2,615,612
利益剰余金	1,442,216	1,213,254
自己株式	△137,187	△522
株主資本合計	3,812,824	3,928,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△47	△21
その他の包括利益累計額合計	△47	△21
新株予約権	-	211,501
非支配株主持分	19,970	11,910
純資産合計	3,832,748	4,151,735
負債純資産合計	15,482,775	15,739,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	623,189	892,378
売上原価	123,718	305,373
売上総利益	499,470	587,004
販売費及び一般管理費	492,063	1,210,008
営業利益又は営業損失(△)	7,407	△623,003
営業外収益		
受取保険金	-	16,068
助成金収入	-	49,365
その他	1,968	12,390
営業外収益合計	1,968	77,824
営業外費用		
支払利息	36,066	63,959
その他	2,469	10,633
営業外費用合計	38,536	74,593
経常損失(△)	△29,160	△619,771
特別利益		
違約金収入	15,000	-
関係会社株式売却益	97	-
現物分配益	-	77,368
特別利益合計	15,097	77,368
特別損失		
固定資産処分損	2,656	-
本社移転費用	1,212	-
特別損失合計	3,869	-
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△17,932	△542,403
匿名組合損益分配額	△6,675	△20,783
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,256	△521,619
法人税、住民税及び事業税	1,303	1,409
法人税等調整額	18,229	△417,834
法人税等合計	19,532	△416,425
四半期純損失(△)	△30,788	△105,194
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△358	56,647
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,430	△161,841

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△30,788	△105,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	26
その他の包括利益合計	22	26
四半期包括利益	△30,765	△105,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,407	△161,815
非支配株主に係る四半期包括利益	△358	56,647

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リアルアセ ット事業	メディカル事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	585,989	37,200	623,189	-	623,189
セグメント間の内部売上高又は振 替高	-	-	-	-	-
計	585,989	37,200	623,189	-	623,189
セグメント利益又は セグメント損失(△)	158,984	△55,137	103,846	△96,439	7,407

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△96,439千円は、各報告セグメントに配分していない  
い全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っており  
ます。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リアルアセ ット事業	メディカル事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	664,423	227,954	892,378	-	892,378
セグメント間の内部売上高又は振 替高	-	-	-	-	-
計	664,423	227,954	892,378	-	892,378
セグメント損失(△)	△174,141	△329,976	△504,118	△118,884	△623,003

(注) 1 セグメント損失の調整額△118,884千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であ  
り、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「不動産&フィナンシャル事業」の単一セグメントであった従来のセグメント区分を、  
第1四半期連結会計期間より、「リアルアセット事業」「メディカル事業」に変更しております。なお、前  
第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示  
しております。

(重要な後発事象)

第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権(行使指定条項付)の発行

当社は、2020年12月28日開催の取締役会において、第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権(行使指定条項付)(以下「本新株予約権」といいます。)の発行を決議し、2021年1月13日に本新株予約権の発行価額の総額の払込が完了いたしました。その概要は以下のとおりであります。

- (1) 割当日：2021年1月13日
- (2) 本新株予約権の総数：15,000個
- (3) 発行価額：12,675,000円(本新株予約権1個につき845円)
- (4) 当該発行による潜在株式数：1,500,000株(本新株予約権1個につき100株)

上限行使価額はありません。下限行使価額は1,022円ですが、下限行使価額においても潜在株式数1,500,000株です。

- (5) 調達資金の額：1,928,675,000円

資金調達の額は、本新株予約権の払込金額の総額に本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額を合算した金額から、本新株予約権に係る発行諸費用の概算額を差し引いた金額です。なお、本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額であります。また、行使価額が修正又は調整された場合には、調達資金の額は増加又は減少する可能性があります。また、本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、調達資金の額は減少する可能性があります。

- (6) 行使価額及び行使価額の修正条件

- ① 当初行使価額：1株当たり1,314円
- ② 行使価額の修正条件

本新株予約権の行使価額は、本新株予約権の各行使請求に必要な事項の通知がなされた日の直前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値の90%に相当する金額に修正されます。但し、修正後の価額が下限行使価額を下回ることとなる場合には、下限行使価額を修正後の行使価額とします。

- (7) 募集又は割当方法：第三者割当の方法によります。
- (8) 割当先：Japan International Partners LLC(以下「JIP」といいます。)
- (9) 行使期間：2021年1月14日から2024年1月13日
- (10) 本新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額及び資本組入額

- ① 株式の発行価額

本新株予約権の行使により交付する当社普通株式1株の発行価額は、当該行使請求に係る各本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の総額に、本新株予約権の払込金額の総額を加えた額を、当該行使請求に係る交付株式数で除した額とする。

- ② 資本組入額

本新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本金の額は、会社計算規則第17条の定めるところに従って算出された資本金等増加限度額に0.5を乗じた金額とする。

- (11) 調達する資金の具体的な使途

当社連結子会社であるサイトリ・セラピューティクス株式会社の次の事業資金

- ① 脂肪組織由来再生(幹)細胞を用いた既存及び新規の疾患パイプラインの臨床試験及び臨床研究等の推進に係る費用：670百万円
- ② 脂肪組織由来再生(幹)細胞の保存・精製センターの設備投資及び運営費用：365百万円
- ③ セルーションシステムの日本国内での製造拠点の構築費用：193百万円
- ④ 国内外の再生医療関連企業との業務資本提携資金：700百万円

- (12) その他

当社は、JIPとの間で、以下の内容を含む本新株予約権に係る買取契約(以下「本買取契約」といいます。)を締結いたしました。本買取契約において、本新株予約権の払込期日の翌取引日(当日を含む。)から、原則として75取引日目の日(当日を含む。)までの期間(行使コミット期間)に、JIPが保有する本新株予約権合計3,700個を行使しなければならないこと、JIPは、一定の場合に当社に対して通知することにより、本新株予約権の取得を請求することができること、およびJIPは、当社取締役会の承認を得ることなく本新株予約権を譲渡しないことについて合意いたしました。また、本買取契約においては、新株式発行等に関するロックアップに係る条項も定められております。

第2回新株予約権の行使

当社が2021年1月13日に発行いたしました第2回新株予約権につき、2021年1月14日から2021年2月10日までの間に、以下のとおり行使されております。

- (1) 行使新株予約権個数：270個
- (2) 交付株式数：27,000株
- (3) 行使価格総額：34,830千円
- (4) 未行使新株予約権個数：14,730個
- (5) 増加する発行済株式数：27,000株
- (6) 資本金及び資本準備金増加額：資 本 金 17,529千円  
資本準備金 17,529千円

なお、資本金増加額、資本準備金増加額には新株予約権の振替額がそれぞれ含まれております。

上記の新株予約権の行使による新株の発行の結果、2021年2月10日現在の発行済株式総数は8,690,419株、資本金は117,529千円、資本準備金は2,300,826千円となっております。